



松本病院

地域医療連携室だより

Matsumoto National Hospital

医療安全
医療連携

宮原 ゆき江



松本病院

医療の発展とは必ずしも何でも最新鋭の設備を中核とし、最先端とも認められる最先端の設備が重要だといえます。この設備の時代にも医療現場への設備投資は当然、最先端の設備の設備投資は、当然の当然と受け取られていました。また、教育現場から医療安全推進活動を中心とした医療安全カンファレンスを毎週行い、リアルタイム事例の分析・評価を部門を超えて実施をしています。この医療安全カンファレンスでは、部門間のコミュニケーションを円滑に行える場の一環にもなっています。このことにより医療安全で医療安全に取組むことを促すための場といえます。今後は医療安全管理部が行っている活動の一環を推進させていたばいと思います。今後も医療の発展と健全な医療を推進できるように、医療安全管理部では活動の推進を図ります。医療安全管理部(事務局)とご一緒に活動の推進を図ります。今後はよりよく活動を行います。

私は昨年4月より副院長より医務部医療安全管理部長としてお仕事を担当しています。

2007年の経営理念「医療現場の「患者さんを守る」はまた医療に新しいことだ。この理念を基に、より医療現場に、より医療現場としてとらえるような体制に強化されてきています。2007年の医療現場の発展の促進により、既に医療現場でも医療安全管理部が推進されています。医療現場からの医療安全管理活動であり、またその推進活動(事務局)として

も、推進します。2007年の医療現場の発展を促進するために、医療現場として、その活動の一環として、医療現場の推進活動を行います。医療現場の推進活動を進めていくことはもちろん重要ですが、その推進には職員一人一人が「安全な医療を提供する」ということを目標の中で推進することが必要不可欠です。職員一人一人が安全をいつも考えて行動できるように、医療安全管理部では推進活動を推進、推進しています。2007年1月に推進活動をする中

松本病院の理念

- 患者様の立場や権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに、患者様中心の医療を行います。
- 地域に基いた医療を行うことにより、人の生命に関わる重要な活動として、質の高い医療を提供するために努めます。
- 常に迅速である。職員一人一人が、専門技術を全面的に活用し、チーム医療や地域の医療機関と連携します。
- チャレンジ精神をもち、常に前進します。

開業医の先生紹介



品川内科医院 庭本博文 院長

る、来るだけでよくなるような気がする、何でも話せる、そんな安心感を持てる医院です。

松本地区の病診連携は、関西と比べても優秀です。松本病院のようなしっかりした支援病院の存在は、患者さんのみならず我々開業医にとって心強いかぎりです。貴院の青木先生は信大の一期先輩で、古田先生と後藤先生は同期で、なおのことです。今後ともどうぞよろしく願いたします。



医療法人 品川内科医院
〒399-0033
長野県松本市大字笹賀5526-12
TEL : 0263-28-3313
FAX : 0263-27-5313



はじめまして、品川内科医院の庭本博文と申します。平素は大変お世話になっております。私は、大阪出身で昭和57年信州大学卒業後兵庫医大に入職し一昨年助教授で兵庫医大を退職し、昨年4月に院長として着任いたしました。

品川内科医院は、平成3年に故品川勉先生が設立された医療法人で、笹賀下二子バス停前にあります。眼科以外のプライマリーケアとホームドクターとして地域の皆様のお役に立ちたいと思っております。平成13年に亡くなった品川勉先生は信大の同期で、その縁で25年ぶりに松本に戻っ

てまいりました。学生時代とは違った信州の良さを今改めて実感しています。北アルプスの眺望はすばらしく、野菜、果物、そばはおいしいし、夏は関西とは比べ物にならないほど過ごしやすい。そして長野県人は真面目です。血压手帳をわたすと毎日つけてくれるし、毎朝経鼻内視鏡を行っていますが、遅れてくる人はほとんどいません。関西弁の新参者の私ですが、皆さんにあたたかく迎えていただき、思い切って信州にきてよかったと思っています。

私の理想は、患者さんがここへ来たら何とかしてもらえ

人間ドックのご案内

- メタボリック半日コース
- がん半日コース
- 総合1日コース
(アンチエイジングを加えた総合コースです)

お問い合わせ先

- 松本病院：地域医療連携室
- 予約専用：TEL 0263-86-2812
FAX 0263-86-2816
- 受付時間：8:30～17:00
(土・日・祝日は除く)

松本病院

最近の診療トピックス(4)

— 消化器内視鏡の最近の話題 —

最近内視鏡を行っていて感じることは、10年前より必要とされる診断・治療手技が格段に難しくなっていることです。診断に関しては、拡大大腸内視鏡による大腸の Pit pattern (粘膜無名溝による模様) 診断による正常～浸潤癌までの診断は当たり前であり、上部消化管内視鏡の NBI (narrow band image) 拡大観察では血管構築による癌の診断が必要とされています。こうなるともう診断技術も職人芸の域です。

なんでこんな職人芸を必要とするのかというと、大きな病変を確実に一括で切除する内視鏡的粘膜下剥離術 (endoscopic submucosal dissection = ESD) などという昔から思うととんでもなく大変な手技を行うためであります。病変周辺の腫瘍診断を確実にを行い、より無駄な切除を避け、時間を節約し、二度とこんな大変な手技を行わないためと感じています。なにしろ ESD といわれるからには直径 3 cm (ということは $1.5 \times 1.5 \times 3.14 = 7.0 \text{ cm}^2$) の病変に対し 0.5 mm 程度の切開・剥離をねちねち・ネチネチ繰り返し、出血をひたすら止めながら 2 時間くらいで切除する手技です。ひどいときは 8 時間もかけて最後は穿孔や大出血で外科の先生にお世話になるような経験もしています (例外でありほとんどは内視鏡的に何とか対処しています)。何度外科手術の方が速いのになんと言われたことか。ただし切除できたときと、きれいな潰瘍底をみる時の快感は粘膜切除全盛の時代とは全く違うもので依存症のようにやめられないものです。

一方、大腸の粘膜下剥離術は側方進展型腫瘍が多く、リクエストは多いものの、大腸の壁が薄く穿孔を起こしやすいこと (約 10%)、早期癌が胃ほど多くないことから早期悪性腫瘍粘膜切除 (EMR) というポリベクトミーの延長とそれほど点数が変わらず苦勞した割には実入り

(次頁)



リレー形式



が少なく理不尽を感じています。

ERCPに関しても以前は経鼻胆管ドレナージができれば後は外科ドクターに任せればよかったですのですが、金属ステント（胆管狭窄を解除する管）が幅をきかせてきたこの時代には、十二指腸乳頭切開と胆管内ガイドワイヤー操作のテクニックなど医者一人の力ではどうにもならなくなってきています。

加えて最近では暗黒大陸であった小腸に、カプセル内視鏡（信州大学内視鏡部で購入計画があるという噂を聞いています）やダブルバルーン小腸内視鏡で観察し、止血などが盛んに行われるようになりました。

また、最近検診では咽頭反射が少なくて細い経鼻内視鏡がはやりとになってきています。

後輩の羽場先生が10年選手を迎える頃には上記の手技はもちろん習得することとして、外科手術を超える内視鏡的手術方法が生まれ、それをもこなしているものと期待しています。ただし、その頃私は臨床の第一線から退いているでしょうが…。

次回は泌尿器科、小宮山先生をお願いします。

消化器科医長 宮林秀晴

小児科勉強会のお知らせ

日時 10月18日(木)
19:00~20:00

場所 会議室

地域の皆様方のご参加を
お待ちしております。

小児科

松本の歳時記

10/1 神道祭り
10/2 (四柱神社例祭)

10/3 浅間のたいまつ祭り
(御射神社秋祭り)

乳腺内分泌外来のご案内

木曜日午後の乳腺外来(担当 清水忠博医師)に加えて、
10月より毎週火曜日午前に乳腺内分泌外来がスタートします。

診療日時：毎週火曜日
8：30～11：30

担当医：かない金井 としはる敏晴 先生
(第1・3・5火曜日)

こまつ小松 あきら哲 先生
(第2・4火曜日)



ご利用をお待ち申し上げております。

マンモグラフィ検診施設A認定を取得しました!



マンモグラフィ検診精度管理中央委員会(精中委)、施設画像評価委員会による老健第65号に定める審査に当院が合格し、A認定を取得いたしました。

昨年、高性能乳房撮影装置が導入されてから1年に亘った努力が良好な結果となりました。今後もこの精度を維持しつつ、技術講習会を終了した診療放射線技師が質の高いマンモグラフィ検診の実現に努力してまいります。

診療放射線技師長 高橋 和通

第33回 松看祭のご案内

- *日 時：10月26日(金)
10月27日(土) 一般公開 10:00~15:00
- *内 容：健康チェック、バザー、喫茶、茶道、展示
(学生・職員)
- *場 所：松本病院附属看護学校

最近、健康が気になるあなた！
看護師の卵による健康チェックを受けてみませんか？
リフレッシュに文化祭へ来ませんか？
今回は最後の文化祭となります。
文化祭学生一同、学校35年間の感謝を込めて
みなさんのお越しをお待ちしています ♪ (*^v^*)ノ”

文化祭実行委員会一同

患者さまの紹介方法

FAXによる予約

地域医療連携室(FAX 0263-86-2816)に送信して下さい。
15分以内にお返事を致します。

お電話による予約

地域医療連携室(TEL 0263-86-2812)までお電話を下さい。
患者さまのお名前・生年月日・受診希望日をお知らせ下さい。
日時をお伝え致します。

ご予約なしの場合

午前8:30~午前11:30までにお越し下さい。
但し、産婦人科・耳鼻科・眼科は外来診療表のとおりです。
紹介患者さまは優先致します。

紹介状・保険証等は、
受診当日 新患窓口
までお持ち下さい。
当日は、室員が診療科
にご案内致します。



当院では、専用の診療情報提供書をご用意しております。
ご希望される場合は、地域医療連携室までお気軽にご用命ください。

地域医療機関の先生方のご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療連携室 ☎0263-86-2812 征矢まで連絡をお願いします。